

+Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0906
東京都八王子市北野町575-22
並木 真 TEL: 090-4314-3044
Fax: 042-649-5276
E-mail: m.namiki1020heartbeat@gmail.com

2024年11月

The Service Club of The YMCA

第353号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	並木 真	国際会長 A シャナヴァスカーン (インド) 主題「より良い世界のために、共に」
副会長	久保田 貞視	スローガン「立ち上がろう、そして輝こう」
書記	小口 多津子	アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン (台湾) 主題「大きなインパクトを起こそう」
会計	長谷川あや子	スローガン「大胆に、信念を持って奉仕しよう」
直前会長	花輪 宗命	東日本区理事 山田 公平 (宇都宮) 主題「ワイズの方向性を見極める」
担当主事	菅野 牧夫	スローガン「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
プリテン	山本英次 大久保重子	あずさ部部长 ピーター・マウントフォード (甲府) 主題「めあて 望み」
		八王子クラブ会長 並木 真 主題「協働と共感」

2024年11月例会プログラム

日時: 2024年11月9日(土) 18:00~19:30

会場: 八王子市北野事務所 2階大会議室

担当: 花輪、久保田、並木(真)、望月

受付: 司会:

- ・開会点鐘 会長 並木 真
- ・ワイズソング 一同(ハーモニカ:並木信一)
- ・ワイズの信条 一同
- ・ゲスト・ビジター紹介 会長
- ・卓話 「東日本区チームインベーション/答申と私たち」
スピーカー: 国際協会 TOF 委員会委員長・アジア太平洋地域財務委員会委員長 田中博之様
- ・出席者からの一言
- ・ハッピーバースデー(花輪豊子さん、山本英次さん)
- ・スマイル
- ・閉会点鐘 並木(真)会長



巻頭言

設立30周年記念例会挨拶

会長 並木 真

本日はお忙しい中、私ども東京八王子ワイズメンズクラブ

の30周年記念

例会にご臨

席頂きまし

て、まことに

ありがたく、

厚く御礼申し

上げます。

今日の記

念例会に

は、東日本区

より山田東日

本区理事をはじめ、役員、メンバーの皆様、遠く台湾より

IBCを締結している台湾高雄ポートクラブの友人、日ご

ろから親しい交わりを持たせていただいている中央大学

YMCAひつじくもの皆さん、その他YMCAのスタッフ、

今月の聖句 (2024年11月)

あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。また、灯をともして灯の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家にあるすべてのものを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かせなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、天におられるあなたがたの父を崇めるようになるためである。

(新約聖書 マタイによる福音書 5:14~16)

クラブ設立時メンバーなど、100名に及ぶゲスト・メンバーをお迎えしています。まことに感謝に耐えません。

30年の月日というのは、たどり着けば短く感じられるものではありませんが、振り返ればそれなりの年月でさまざまなことがありました。

東京八王子ワイズメンズクラブは、1994年10月30日、親クラブの東京サンライズクラブ、東京武蔵野多摩クラブのお力添えを頂き、「八王子にYMCAを」との熱い思いを抱いて、産声を上げました。クラブ設立の中心にひよって奔走された奈良昭彦(ならあきひこ)さんは今日ここに駆け付けてくださいましたが、親しく交わった仲間を多く天国に送りました。多くの方々の尽力があって今日を迎えていることを記憶にとどめたいと思います。

これまで、クラブでは、日常の例会での学びに加えて、チャリティコンサート、老人ホームの草刈りや、街頭募金など様々な地域奉仕活動を行い、台湾高雄ポートクラブとの交流、地雷廃絶日本キャンペーンの活動支援や中央大学YMCA ひつじくもとの交流等様々なプログラムを通じて、良い交わりを持たせていただけてきました。振り返ればすべてよい出会いに支えられてここまでまいりました。

私ども、八王子ワイズメンズクラブはこれからも、自らの満足をのみ追い求める存在ではなく、「誰かに、何かが必要とされることのために、自分自身の存在意義を見出すクラブでありたい」との願いのもとに、この願いに共感する人々を多く仲間に加えて、明日に向けて歩みを進めたいと思っています。

今日はこのあと、「バイオリン、ピアノの演奏会」、「懇親会」が予定しています。お寛ぎをいただき、お互いの交わりを深める時としていただければ幸いです。

終わりに、皆さまとの交わりがこれからも末永く続くことを願って、つたないご挨拶いたします。

ありがとうございました。



記念例会会場・エルシー

開会の祈り

並木 信一

ご在天の父なる神様、御名を賛美し、日々のお恵みに感謝いたします。

今日、ここに、東京八王子ワイズメンズクラブ設立30周年記念例会を開かせていただき心より感謝いたします。また、山田公平 東日本区理事をはじめ、親しい交わりの中にある多くのワイズメンズクラブ会員、奉仕の場を提供くださっているYMCAのスタッフ、さらに、遠く台湾より、兄弟の



絆を結んでいる台湾高雄ポートワイズメンズクラブの大切な友人、日ごろより深く交わり、クラブの希望の光となってくれている中央大学

YMCA ひつじくもの若い友人等、多くの皆さまにご列席をいただき、私どもと喜びを共に分かちあえますことに感謝いたします。これまでクラブ設立以来、共に親しく交わった多くの仲間を御許におくりました。これらの仲間も共にこの場で心の内に集わしめてください。

私たち、東京八王子ワイズメンズクラブは30年前に志を立て、先ほどの聖書のみ言葉を活動の道しるべとして、今日まで歩を進めてきました。これから後も、私たちの働きが、これからの社会を担う若者たちと共に歩み、社会のもっとも弱い立場にある人々、衣食住に困窮する人、命の危機にさらされている人々に寄り添い、力ある支えとなりますことを切に願います。神様、どうぞこのためにこれから後も私たちに力を与えて下さい。

今、季節は実りの秋、収穫のときを迎えています。今日の記念例会が、これからの東京八王子ワイズメンズクラブの働きに、よい実りをもたらす原動力となりますよう、これからのプログラムを、終わりまで御手の内に守り、導いてください。

東京八王子ワイズメンズクラブ設立30周年記念例会の初めにあたり、尽くしませぬ感謝と願い、ここに集うすべての人々の祈りに合わせて、イエス様の御名前によってみ前にお捧げいたします。

アーメン

ご来賓のご挨拶



司会
長谷川あや子

***東京YMCA 副総主事の星野太郎**でございます。東京八王子ワイズメンズクラブ設立30周年、誠にありがとうございます。東京YMCAを代表して心からお祝い申し上げます。



今日久しぶりにきねに参りまして駅から歩いて参りました。八王子を少し実感することができました。私はユーマンが好きなもの

のですから、彼女の実家である荒井呉服店の前を歩いて、ここ八王子に来たと思いました。その横、萩生田さんの選挙カーが大きな声で通りまして八王子に来たとも思いました。この八王子という地域を東京八王子クラブの皆さんはとっても意識をされて、こだわって、そしてその地域を愛して、そこに根差して、30年の活動を続けてこられたんだとそういうふうに思っております。

そして皆さんご存知のように八王子クラブの主な活動といえます地雷廃絶のためのチャリティーコンサートでございます。聞くところによりますと20回以上これを継続して実施をされているというところであります。数年前でありますけれど八王子のタウン誌にそのことが記事として掲載をされたと記憶しております。そこにはこういうふうになりました。20回地域でチャリティーコンサートを継続。地雷廃絶のためその寄付は500万円を超える。

本当に素晴らしい働きをお続けになっている。そのように思っております。その働きには心からの敬意を表したいと思っております。八王子クラブの皆さんの活動は地雷廃絶チャリティーコンサートだけではなく。街頭募金の活動それから災害があれば被災者支援活動またウクライナからの避難者の支援、能登半島の支援など多岐にわたって助けを必要な人が現れればクラブの皆さんコツコツとそのために行える活動としてそれを積み上げてこ

の30年活動をお続けになっている本当に頭が下がる思いであります。また中央大学YMCAのひつじもの若い皆さんとの協働も八王子クラブの皆さんの本当に素晴らしいお働きの一つ、そのように認識しております。

東京YMCAが高尾で運営していますわくわくビレッジ、こちらで草刈りの奉仕をひつじもの皆さんとしていただいたり、バーベキュー大会をしたり、本当にユースの皆さんと協働する、あるいはユースの皆さんが輝く場の提供、これを八王子クラブの皆さんは実践されているんだな、これはYMCAも見習わなければいけないな、そのように思わされているところでもあります。そんな八王子クラブと皆さん、30周年を機に、これも聞くところによりますと、新たなボランティア活動、あるいは新たな他のボランティア団体との協働も模索されているというふうに向っています。ますますクラブとしてその活動を強めよう、もっと活躍あるクラブにしていこう、その精力的な姿勢に私たちも本当に学ばされている次第です。

東京YMCAは創立150周年を迎えその歩みを私たち続けているわけですが、八王子クラブの皆さんも40周年に向けた歩みが始まると思います。それぞれその節目に向けて、これまでの良きパートナーとしての関係を大事に、あるいはもっとそれを強めて、これからも共に歩んでいきたいと願っております。ぜひ今後ともよろしく願いいたします。今日は30周年、本当におめでとうございます。

***東日本区理事、山田公平様**

みなさんこんにちは、そして八王子クラブ30周年本当におめでとうございます。今日この会場に来て、あれ、この人が、あの人がって感じで、自分の中で30年前、あ



るいはそれ以上前の自分との出会いというのを作ってくれた人たちが、多くこの八王子クラブにはおられますねと

いうことを感じました。

ワイズは日々いろんな活動をしていますけれども、そこでの出会いというのが、とても意味のある出会いだと思えます。その連続が私にとってのワイズという思いにつながっているように思います。並木信一さんはさっきお祈りをこの多くの人の前でしていましたけれども、私は40年前に並木さんと会って、今私が住んでいる栃木に私を招いてくれました。それが縁で栃木人になってしまいました。そ

れから今日久しぶりに出会った奈良さん、私はYMCAの時に様々な形でアドバイスをしていたんですけどもそこで何が起きているのかというと、眞野さん、まだご挨拶もしていませんけれども、眞野さんとの出会いもきっちり覚えていてます。本当に素晴らしい人たちがここに集まり、そしてこれまでを作ってきた、さっき星野さんが言っていたけれども、様々な活動を生み出してこられたクラブだと思えます。これからはアイデア、人間関係をさらに大切にして、さらなる発展を、さらなる意味のある活動を続けていただければと思っています。

***あずさ部部長ピーター・マウントフォード**です。みなさん、こんにちは。あずさ部代表として、個人としても、八王子クラブ 30 周年、誠におめでとうございます。今日は、八王子クラブのチャーターメンバー数人がいますと聞かれました。チャーターメンバーも、年来の会員のみなさまの尽力でこの日を迎えることができました。この成果



をお祝いするために、たくさんの方々が集まりまして、大変喜ばしいことです。ワインソングのように「栄えと誉れ豊か」。我々は八王子クラブの 30 周年

の素晴らしさに感動しております。

30 年は而立、半還暦です。つまりここまでよく頑張りましたが、50 年後も成長して頑張ってくださいという意味も含んでいます。八王子クラブこれからはますますご成功をお祈りいたします。

***東京サンライズクラブの御園生好子**でございます。八王子クラブさん今日はおめでとうございます。八王子クラブさんがチャーターしたのは、私がワイズに入会して 1 年目くらいでしたので、チャーターの意味とかも全然わ



らないで、そちらの奈良昭彦さんがすごいご尽力なさっているということくらいしかわかりませんでした。でも地雷 廃絶コンサートなどをいつも出

席しておりましたが静かな大人っぽいイメージでした。ここに奈良昭彦さんの祝辞がございますけれども、この写

真の中に 10 周年記念例会の写真が載っています。10 周年記念例会の時に調さんと橋本さんが黄色い帽子にランドセルを背負って小学生に扮しまして、もう大爆笑で八王子クラブさんってこんなに元気なの？って思いました。

それから八王子クラブさんは地道でぶれないクラブです。何事にもコツコツとおやりになっらっしゃいます。それで、東日本区の最優秀クラブ賞を 2 度も受賞されております。これもそうですね。これからは 40 年、50 年と末永く、50 年は私くないと思いますけど、ご活躍なさることをお祈りいたします。

本当に今日はおめでとございました。ありがとうございました。

***高雄ポートクラブ会長・ゲイリー・リン様**

皆さんこんにちは。八王子クラブ 30 周年誠におめでとうございます。この度は八王子クラブの 30 周年記念例会に参加することをとても嬉しく思います。高雄ポートクラブ



と八王子クラブは、15 年の交流を重ねており縁に寄って共に集まることができました。

縁というのは本当に不思議

なものなんです。6 年前私はまだ高雄ポートクラブに加入してない頃に先輩と神戸を訪れたことがありました。それから 4 年後高雄ポートクラブに加入して、今年で 2 年目となる会長をやらされることになりました。そして今回日本に来て八王子 30 周年をともに祝うことができたのは、まさに不思議な縁です。10 年前に 1 年だけでしたがその時に日本語が好きになったのです。

台湾に戻ってから日本語を使う機会がどんどん減ってしまいました。もう日本語を使う機会はないと思っていましたが、今日はこのような舞台上で挨拶する機会をいただき、本当に感動しています。このような縁があって八王子クラブの 30 周年をお祝いするためにここに来られました。

このようなことを大切に思っています。これからはさらに 10 年が続くことを願っています。高雄ポートクラブと八王子クラブの友情が末永く続くことをお祈りいたします。

(懇親会でのプログラムにない司会の独断で依頼)

***クラブの生みの親 奈良昭彦さん**

いろいろな偶然が重なって、ここにこうしてあなた方と一緒にいられることがとても大切です。とても嬉しい。こうやって今日はこの八王子クラブの30周年に、日本の各地からワイズメンが集まって、一緒に喜び祝うことができる。

また私がわざわざ今日淡路島から駆けつけることができたのも、いろいろな偶然が重なっているんだなと改めて思っていますね。



ワイズメンとかワイズメンズクラブのプログラムは、人と人が出会って、偶然か偶然でないか、人が出会ってなんぼの組織ですから、それだけコロナの期間はひどい目にあって痛い目をしてきたわけですが、今こうやってまた再び対面でいろいろな方とお目にかけられる、とても幸せなことだし、これこそワイズメンズクラブだと改めて思います。

でも一方で、今はSNSが主流で、人と人が直に会うよりもネット上で会うというのが当たり前になっていた、そんな時代ですね。それにもやっぱりワイズメンズクラブはなんとか対応しているかなきゃいけない時代なわけですね。ですから、今はもうすでにバーチャルで例会、オンデマンドの呪文を使った例会なども行われているようですが、さらにその上に行く、先を行くにはどうすればいいかというのやっぱり考えていかなきゃいけない時代になっている。それはワイズメンズクラブだけじゃなくてロータリーでもライオンズでもどんどん今人数が減っているというのは、時代の流れに追いついていないということの表れですよ。だから例えばローカルティに根付けさせたクラブじゃなくて、例えばワイズムスクラブ、チリクラブとかですね、職業とか趣味とかでつながるローカルティを超えたネットワークのネット上のクラブみたいなものもこれから考えていかなきゃいけない。でもそれは国際憲法を変えなきゃいけないんですからね。ハードルが高いですけど常にそういうふうを考えていかなきゃいけない。先を見続けることも大事。八王子クラブもぜひそういう未来志向の発想を掘り起こして、これからも元気でやっていただければ、八王子クラブを作った一人として大変うれしく思いますけれども。さっき言った「ね」という歌の最後はこうです。

“ね、おじいちゃんになっても、ね、おばあちゃんになっても、ずっとずっと一緒にあったたくつきあってたいね。

ね。”という歌ですね。とても歌詞がいいので大好きでいろんなところで広めていますけれども、もう我々すでにおじいちゃんおばあちゃんになっちゃってますけれども、これからもこんな機会でも仲良く付き合っていければなと思っています。今日はありがとうございました。

司会からのご紹介



30年前に最初に八王子ワイズができて、最初の在京ワイズの新年会で、私が初めて参加した時に奈良ワイズに藤井寛敏さんを紹介していただきました。藤井寛敏さんはその後国際会長にもなりました。大変出世されたのですが、やっぱり影日向なく八王子ワイズを支えていただいています。

***藤井寛敏さん**

創立10周年の時だと思いますが、私は東日本区理事をやった時だと思います。

当時、私も60歳そこそこの、どっかかという理想に燃えたような青年に近かったんですが、その時は今日いらっしゃる甲府やまなみクラブの仙洞田さん、そして今日はカメラマンの田中さん、その人たちは4人いた事業主任のうちの2人として、若手の50歳をそこそこで登用して一緒に頑張っておりました。



ただ、私が挨拶すると、ちょっと長くなると、みんなカモンカツって言うんですよね。もういいからカモンカツやれという

ことだったんです。当時、私はあっち行ってもこっち行ってもカモンカツばかりやってたんですが、約2名の方が力を入れすぎて肩を壊しました。今日やっても肩を壊すほど力いっぱいできる人は少ないと思いますので、ここで皆さんで昔を思い出して、そしてこれからの10年、20年のワイズの繁栄のために、カモンカツをしたいと思っています。それでは、あまり力を入れないで、“スタンドアップ、プリーズ”

カモンって私が言って一緒にガーツと軽く言ってください。カモンは力強く言いますが、カモン、ガーツ！

***田中博之さん**

こんばんは。東京八王子クラブの「専属カメラマン」を務めています、田中博之です。(笑)



今日は、元アジア太平洋地域会長とかではなくて、私は、東京多摩スマイルクラブのメンバーですが、近隣のクラブのメンバ

ーのひとりとして、あるいは、八王子市民を勝手に代表してご挨拶させていただきます。

これまでいろんな方が東京八王子クラブのことを大変褒められていました。今日はそういう日だから良いことと思います。私もまず褒めさせていただきます。本当に素晴らしいクラブです。地域に根付いた素晴らしい活動、ユースとのコラボレーション、共同事業あるいはクラブ自体が家族的な雰囲気の中で良い交流ができていて、など、いくら褒めても褒めたりませんが、時間の関係で一言だけ付け加えさせていただきます。

私、先週の日曜日、熱海グロリークラブの40周年に出席してまいりました。この中にも何人も参加された方がいらっしゃいます。今日と同じく、とても良い周年例会でしたが、熱海で素晴らしいのは、人口3万4千人の街にワイズメンズクラブが2つあることです。人口1万7千人にひとつクラブがあることになり、日本ではもちろんトップですし、世界でもたぶん1番ではないかと思えます。ワイズの人口比率ということでは、今日も多数お見えですが、日本では、甲府も素晴らしいです。人口18万人の甲府に、甲府、甲府21、甲府やまなみの3クラブがあります。6万人にひとつクラブがあることになります。

これを八王子に当てはまるとうなるでしょうか？八王子の人口は57万人ぐらいですよ、一時期は60万人あったと思いますが、ちょっと最近陰りができて、なんとか立川、町田に負けないで、ますますの発展をしていただきたいと思えますけど、熱海の率で行くと八王子には34クラブできることになります。甲府の率と同じですら9クラブになります。もっと大きな夢を言えば東京都には800以上クラブができるのです。これ単なる夢、幻と見るのがあるいは大きな目標として、これからそこに向けて少しでも頑張っていこうかと捉えるかどうか、私たちの未来がかかってると思えます。

東京八王子クラブも10年ぐらい前でしょうか、新しいクラブ作ろうという試みがありました。私も地元住民として何回か会合に出させていただきましたけど、是非とも八王子に新しいクラブ、それから今日の前半にも話が出てきまし

たけど八王子に東京YMCAをという夢を持ち、実現させてください。近隣のクラブである東京多摩スマイル、東京町田コスモス、東京武蔵野多摩が、それぞれサポート合って、より良い運動、より広がりのある運動に繋げていければいいなというも思っています。

おめでとうございます。これからも頑張ってください。応援いたします。

***原俊彦さん**

こういうこともあるんですね。私、全くの寝耳に水のご指名



でございまして。今、何を話そう、歩いているくらいにちょっと考えましたけど、今日何が一番嬉しかったか。もちろん八王子クラブのメンバーの方々に

いつもお世話になっておりますので、懐かしい方々も含めてお会いできた方、こと、これが一つ大きな喜びでありました。

もう一つは、ご挨拶されましたけども、奈良昭彦さん、私がワイズに引き込まれた恩人の一人ともございます。元気な姿で今日淡路島からわざわざ駆けつけていただいた昭彦さんにお会いできたこと、元気な、お互いが元気でお会いできたこと、これがワイズだなど改めて感じた次第です。

こういう式会に元気で参加できたことが、私にとっては、もう45年ほどになりますけれども、一つ一つが、出会いの中で、先ほどから皆さん方からお話がありますけれども、出会いの中で私も育てていただいた。もう本当に感謝しかございません。



記念演奏会 ヴァイオリンとピアノの二重奏
笹川哲史さん 中山博之さん

食前の感謝の祈り



素敵な音楽のあとの、お食事を一緒に楽しみましょう。
その前に食前の感謝の祈りを捧げます。

ご在天の父なる神様、私ども東京八王子ワイズメンズ
クラブは今日、クラブ設立30周年を迎えることが出来ま
した。

秋の今日という日に、こんなにも多くの友人たちにお
祝いで頂けること本当に感謝しか言葉がありません。

ここまでの30年は、途方もなく長く、沢山の積み重ね
でした。

本当に皆様のお陰という事を、今日はクラブ一同でし
っかりと心に刻みたいと思います。

いつも私達を見守り、日々の糧を与えて下さる神さま
に今からのお食事を感謝して共にいただきます。

この小さなお祈り、感謝を持って、主イエスキリスト
の聖名を通して心よりお祈りいたします。アーメン

小口多津子



台湾ポートクラブ代表
会長 Kuang-Ting Linさん
Tom Chang さん
Grace Chang Huang さん

特別寄稿

八王子クラブ OB から見た 30 周年記念

眞野範一

八王子ワイズメンズクラブの皆様

私がクラブの例会を欠席するようになってから既に10
年余りになります。理由は八王子市から保谷市に引っ
越し、例会に出席するのが困難になったからです。

今回の記念例会で旧知の方々にお会いし、現役時
代を思い出して大変楽しい1日でした。この例会では多
くの方々が「八王子クラブの地雷廃絶運動」に言及され
ました。「30周年記念誌」にJCBL 代表の清水俊弘さん



がお書き
になって
いるよ
うに、私共
一家がこ
の運動に
関わった
ことを嬉し
く思いま
す。

この運動で学んだことは、

- ① 一人の善意だけでは不可能でも、クラブ全員が一致協力すれば、かぎりの事ができる。JCBLを通して国を動かすこともできた(清水さんのご寄稿を参照)。
- ② 「継続は力なり」を現在も八王子クラブが実行している事を喜んでいます。
- ③ この運動を続ける過程で、中央大学YMCAが八王子クラブの活動に参加したことで、次世代への希望を与えてくれました。
- ④ 「地雷廃絶運動」やその後の「クラスター爆弾禁止運動」を継続する事によって、他クラブの方々との交流の輪が広がりました。

現在もウクライナへのソ連侵攻で地雷が沢山使用され、犠牲者が多数出ています。この運動を始められた北川泰弘さん(JCBL 初代代表)のカンボジアでは地雷による犠牲者が今も出ています。

私がワイズに入会したのは、他のメンバーと同じように奈良さんの熱意によります。奈良さんは「30周年記念誌」のご寄稿に書いてあるように、八王子市にワイズメンズクラブを作ろうと実に熱心に活動されました。私の場

合、宝生寺団地(当時は「角栄団地」と言った)の拙宅を
数回訪ねられ勧誘されました。そして今原勇ワイズ(東
京まちだクラブ)宅での集まりに誘われ、囲炉裏を囲ん
での楽しい談笑は私の知らない世界を垣間見させてく
れました。

1993年10月の第一回仮例会から第八回仮例会を経
て、1994年10月のチャーターナイトを迎えたのでした。
それから30年過ぎました。「光陰矢の如し」です。ワイズ
メンとして楽しい思い出は沢山あります。香港大会、ソウ
ル大会、エルマー・クロウ賞受賞等々。

しかし、八王子にもう一つクラブを作ろうと努力しまし
たが、「八王子高尾クラブ」が設立寸前の状態で終わった
のは残念でした。

現会員の皆様のご活躍に期待いたします。
(2024/10/31 記)

乾杯のご発声 渡辺大輔さま



歓談されるご来賓のテーブル



台湾ポートクラブ Anna Chen さんからのメッセージ

Dear 小口さん

I am so glad that I met you in Hachioji.
Especially, I was really touched that you
accompanied me to go to kawaguchiko, because
it is very far.

お疲れ様でした

However, we could be together for 1 day. That
was very good. Thank you very much.

Also, thank you for the gifts. The scarf is very
beautiful. Even though Taiwan's weather is not
so cold, but I can use it to decorate my clothes.
And the 桔梗信玄餅 is delicious and interesting. It
is my first time to know it and eat it.

The enclosed photo is pretty, isn't it? Take care
and お元気で!

Best wishes,
Anna Chen



河口湖



豆腐屋かみい

BC 高雄ポートクラブメンバーの歓迎会及びアテンド

久保田貞視

9月にアンナさんから八王子クラブの設立30周年記念例会に参加するため来日する高雄ポートクラブの張弘(トム・チャン)夫妻、林さん夫妻、朱さんとアンナさんの6人のホテル予約の依頼を受け、八王子駅周辺のホテルをあたったが3日間の二組の夫妻の禁煙ツインが取れず苦慮。

10月25日(金)BCの6人がチャイナエアで成田空港に12:30に着くので空港出口で1時間半近く待ち迎える。成田エクスプレスを使い東京駅経由八王子駅に16時半に着。宿泊するそれぞれのホテルに案内。八王子駅北口のタクシー乗り場でわがクラブの9人と一緒に、どうぶ屋う



かい大和田店へ。ここには当クラブ設立15周年、20周年にも招待しており3度目であったが彼らに喜んでもらう。席について歓迎の挨拶の後各人の自己紹介があり、相互にプレゼント交換、豆腐懐石を堪能。初めて会う人、10年ぶりで会う人も懐かしさに盛り上がる。言葉の壁はあるが手振り身振りで意思疎通を図り楽しいひと時でした。約2時間半後タクシーでそれぞれのホテルに送り届けこの日は過ぎた。

10月26日(土)は当クラブの設立30周年記念例会。



設立記念例会は11時から14時までで高雄ポートクラブの林会長は直接来訪。記念例会終了後、会場を出たのは14時半、エルシーの1階コーヒーショップで簡単な打ち上げをして解散。

1月27日(日)並木真会長、花輪ワイズは張弘夫妻を車で八王子東高校に行くが、休日なので門から中を覗いただけで、八王子城址での氏照祭りに。一方、林さん夫妻と朱さんは久保田と氏照祭りに、しばらくして並木車の



4人と合流。林さんと朱さんは鎧兜の武士が物珍しく付きつきり。その後、並木車は張夫妻を連れて中央大学へ、朱さんを駅へ。久保田は林夫妻と高尾山口に行き、高尾山ケーブルの清滝駅に寄り、599ミュージアムでコーヒーを飲んでリラックス。

一方、小口さんはアンナさんを連れて河口湖へ。17時半にセレオの「おぼんざい」で我がクラブの4人は夕食を



ご馳走になる。28日(月)にアンナさんと林さん夫妻は観光で東京に。久保田は張弘夫妻をメネットの車で八王子高校の副校長と学院の理事長に会



い高雄市の新興高校との姉妹校の話。昼食は市役所の食堂でとり、八王子市副市長と協働推進部長を八王子市と高雄市が海外友好交流都市でもあり表敬訪問。一旦マロードインに戻り、荷物を載せ京王プラザホテルでチェックイン。ホテル内の喫茶室でお互いの再会を期し別れる。張夫妻は翌日早朝のあずさで東京経由成田に、13:15発のチャイナエアで高雄に。

以上が高雄ポートクラブとの4日間でした。

中大ひつじぐも便りに代えて

ひつじぐも 記念例会に参加して

・総合政策学部1年 鳥越琴乃

ワイズメンズクラブ30周年定例会は、充実した内容と演奏と参加者の熱意・美味しいお料理がとても印象に残る会でした。様々な方の今までのワイズメンズクラブの歴史や思い出を聞く貴重な機会となりました。また、様々な方のお話を聞くことで新しい知識や視点を得ることが出来ました。バイオリンとピアノの二重奏では、私の好きなタイタニックの音楽を聴けてすごく感動しました。また、30周年という節目を祝う雰囲気会場全体に広がり、今後の活動への期待感が高まりました。次回の開催も楽しみにしています。

・文学部2年 小宮夏光

八王子ワイズメンズクラブ創立30周年を迎えられたこと心よりお祝い申し上げます。今回の記念例会において、30周年までの活動、そして沢山の方々によって支えられてここまで継続されたことを実感しました。私は中央大学国際ボランティアサークルひつじぐもの一員として八王子ワイズクラブの方々とは活動しました。その中でも街角募金や草刈り、普段の例会などでクラブメンバーの方と友好的交友関係を築いたり、ボランティア活動を通して様々なことを学んだりすることができました。これらの経験は普段の生活では経験することのできない非常に刺激的な機会となっています。改めて、この度はまことにありがとうございます！

・法学部3年 青山眞之介

ひつじぐも共同代表の青山です。まず、この度は30周年おめでとうございます。これからもよろしくお願ひします。今回の記念例会は、演奏会や豪華な食事といった記念にふさわしい例会でした。他のワイズの方々の話等からも、八王子ワイズメンズクラブは活発で見習うべきクラブと言われていたことから、だから30年でもできたんだと感じ、同時に私たちも見習わないなと思ひました。今回はこのような場にお招き頂き、ありがとうございました。

ひつじぐも 記念例会に参加して

・総合政策学部3年 折原美結

今回の八王子ワイズメンズクラブ創立30周年記念例会には、国内・国外からワイズメンズクラブの方々に参加しており、八王子ワイズメンズクラブが地域や国を超えて交流を持っていることを改めて実感しました。また、バス停で案内を行っている際に、ひつじぐもの方ですかと声を掛けて下さる方がおり、八王子ワイズメンズクラブの方だけでなく、ひつじぐものことを知っている方が居ることを知り、驚くと共に嬉しくなりました。これからの東京八王子ワイズメンズクラブのますますのご活躍とご健勝を、心よりお祈りいたします。

・経済学部4年 森脇啓心

30周年おめでとうございます。自分もこの長い歴史の中の一人として参加できたことをうれしく思っています。さて、先日の記念例会で私は参加人数の多さに驚きました。日本全国から果ては台湾まで多くの人々に支えられ愛されている素晴らしい組織であるのだと再確認しました。おいしい食事も頂けたことも大満足です。今後とも益々の発展を願っております。そして、次の記念でもひつじぐもをよろしくお願ひいたします。



ひつじぐものテーブル

折原美結さん・鳥越琴乃さん・小宮夏光さん・
白羊会会長：米山敏裕様・森脇啓心君・青山眞之介君

記念例会締めめの挨拶

実行委員長をさせていただいた久保田貞視です。



第三部 司会：花輪宗命

今日もチャーターメンバーは5人いらっしゃるんですが、初めからずっといるのは残念ながら私だけなんです。あと2人はまた戻っていただいた並木さんと山本さんです。本日、大勢の方においでいただきましてありがとうございます。かってチャーターの会式があったのはここエルシーなんです、再度ここで30周年記念ができたことを喜んでおります。

皆さんのおかげで30年間、なんとかワイズとして生きてきたと思います。いろいろな試行錯誤があってやってきたんですが、人数が少し減って現在12人でもうちょっと増やさなくてはならないんです。

これは今の新会長の並木真会長にお願いです、

セカンドジェネレーションをもっと増やしていただきたいなど考えます。高雄ポートクラブはセカンドジェネレーションの方が頑張っていて、今の会長もそうですし、今日参加している若い周さん、彼女のお母さんが現在台湾区の理事をやっているそうです。

ということで、セカンドジェネレーションをこれから育てて、そういう形でワイズを担っていただくということであれば、将来永遠に続くんじゃないかと思えます。かつて長島茂雄氏は巨人軍を辞めるときに「巨人軍は永遠に不滅である」と言われましたけども、それは不可能ですが出来るだけ続けられればと頑張っています。

ワイズの皆様のご支援、ご鞭撻をお願いいたします。



第28回あずき部部大会に参加して

小口多津子

秋晴れの10月19日(土)に、あずき部部大会が、ホストクラブの甲府クラブの主催で開催されました。会場は中央線石和温泉駅から6分ほどの、シャトレゼホテル石和でした。東京八王子クラブからは、久保田さん、長谷川さん、小口の3人でした。先週の甲府21クラブのぶどう棚例会に続く「かみじ号」ですが、八王子からは近い。私はこの路線に乗っていると、列車の外をあの昔のあずき部夢街道歩きのコースを、常に目で探して追っている自分に気づきます。あの駅の外で集合した・・・あの山道を歩いてたとか。年を取ると昔に、涙するとはよく言ったものです。

11時に開会点鐘、いつものようにリビティープリント柄のシャツのピーター・マウントフオード部長の姿。部長はホテル玄関で、一人ひとりを出迎えて下さいました。ホスト甲府クラブ会長小倉恵一ワイズの歓迎の挨拶、山梨YMCA理事長の野々垣健五ワイズ挨拶に続いて、東日本区書記大和田浩二ワイズの区の報告、現在の東日本区メンバー数は667人ですが、11月24日には神奈川県大和市に新しいクラブ「大和クリエイティブYサービスクラブ」の誕生がありますという嬉しいアナウンス。続けて表彰の授与がありました、甲府21クラブ佐藤重良ワイズへ、国際協会からの国際ブースター賞授与でした。この1年間に3名以上の新入会員を紹介した人に授与されます。あまり滅多には受けられない貴重な表彰でした。佐藤さんは挨拶の中で、入って下さったのは3人も80才を超えていました、と言われましたが、今の80才は皆、どういふ訳か若者に見えます。

2部に入って、部会のメインテーマ「ユースエンパワメント」の若者のユースアワーに入りました。最初は、信州大学生、中国とタイからの留学生のお二人が、能登半島地震復興支援のワークに行かれた報告。1月の大地震被害の復興はまだ半ばに迎えた、9月始めの大雨洪水による大災害の支援に行かれました。2人の流暢な日本語で、きっと被災された方々の気持ちが和み、精神的な大切なものを受けたに違いありません。二番目の報告は、この8月にタイ・バンコクでのワイズ国際大会に参加された、山梨YMCAのユース、都留文大生の本田生磨さんの大会報告でした。山梨YMCAの活躍は、私はいつもFacebookの中で拝見していますが、甲府市のワイズ



メンズクラブが総出で支えている、まさに地域密着の活動が生きているYMCAです。「銀河

鉄道の森」のますますの発展が楽しみです。部会主席者は71名でした。

今月の聖句によせて

(2024年11月)

今月の聖句の冒頭にある、「あなたがたは世のひかりである」、とのことばにふれるとき、必ず脳裏にうかぶ人が糸賀一雄さんです。

知的障がい児や戦災孤児のための「近江学園」、重度心身障がい児のための「びわ湖学園」などを創設され、「戦後社会福祉の父」、「知的障がい者福祉の父」とも称される糸賀一雄さんは、1968年9月17日、滋賀県の新入職員研修会で講演中に壇上で倒れられ、翌日に永眠されました。まだ54歳の若さでした。糸賀さんが訴え続けた言葉が「この子らを世の光に」にでした。「この子らに世の光を」ではないのです。光を当てられるべき憐れみの対象ではなく、社会を形成する光輝く主体であることを訴え続けられました。糸賀一雄さんはつぎのように述べています。

「謙虚な心情に支えられた知的障がいの人々の歩みは、遅々としていても、その存在自体から世の中を明るくする光が出ています。しかし、この人々の放つ光はまだ十分に照らしつけてはいません。しかし、私たちはこの人たちの放つ光を、光として受け止める人々の数をこの世に増やしてきました。異質の光をしっかりと認める人々は次第にその数を増やしつつあります。世の人も、人間の本当の自由と平等は、この光を光として認め合うところからなりたつことに、少しずつ気づき始めてきました。」

講演の最中、昏倒しながらもマイクを離さず、「このことだけは・・・」、「この子らを世の光に、この子らを・・・」と、呂律の回らない声で訴え続けようとしていたということです。

鳥取県松江高校在学中は、イスクールYMCA(高校YMCA)のリーダーとして熱心に活動、鳥取教会で受洗し、京都帝国大学文学部哲学科宗教学専攻に入学、卒業後代用教員時代、招集を受けたが3ヶ月後に病気で入院。同僚全員の戦死により、生かされた命を社会福祉、とりわけ障がい児の福祉に生涯を捧げることを決意され、戦後社会福祉の歩みに多大な足跡を残され、いまだその歩みは人々に大きな影響を与え続けています。

並木 信一

糸賀一雄さん



わくわくビレッジ便り

館長:菅野牧夫

八王子ワイズ設立 30 周年記念例会はたくさんの方に見守られて素敵なお会になりましたね。八王子ワイズらしく品のある会となりました。遠くは台湾、北海道から仲間が駆けつけてきて、たくさんの方々の愛を感じました。月末に台湾では台風が猛威を振るっていましたのでちょっと心配です…。

10 月に入りやっと涼しい日が出てきました。すでにわくわくビレッジの桜の木は落葉してしまいました。10 月は提案書の原稿作成や次年度の予約解禁が重なり、バタバタした落ち着かない時間を過ごしました。提案書は文章の修正や誤字脱字、写真や表の入れ替えなどを繰り返して、11 月末に東京都に提出する予定です。来年度の予約は学校団体、青少年団体に続き一般団体の予約確認連絡がスタートしています。予約台帳は大分埋まってきましたので、お客様の希望に合わせるのがざんざん難しくなってきました。こちらも 11 月の末に終了する予定です。そこまでは予断を許しません。

わくわくビレッジは 11 月にフェスティバルというイベントを実施します。今年度は 11 月 10 日(日)に行われます。玄関前の広場では、利用者たちの有志によるミニコンサートや地元の企業や団体によるマルシェが行われます。館内の施設ではリーダーたちのゲームコーナーや企業や団体による子どもたちが楽しめるイベントの実施、館外ではプロジェクトアドベンチャー(冒険遊具)の体験会やふれあい動物園やポニー乗馬体験、西東京バスやパトカーの展示など、男の子でも女の子でも楽しめるプログラムをたくさん用意しています。レストランもフェスティバル用の特別メニューを準備していますので、お子様、お孫さんと一緒にお越しただけければ、楽しい時間を過ごせると思います。お待ちしております。



わくわくフェスティバル

東京YMCA 近況報告

担当主事 菅野牧夫

- 9月21日～22日に石川県能登地方を襲った記録的豪雨の被災者支援のため、全国YMCAでは「2024年9月能登半島豪雨緊急支援募金」を一斉に開始した。東京YMCAは10月3日、10月8日に高田馬場駅周辺及び東雲地区で街頭募金を行い、延べ61名が参加し合計166,863円の募金が集まった。また全国YMCAと連携し、輪島市町野町へのボランティア派遣を開始した。10月末までに約30名（全国YMCAでは約100名）の学生ボランティア、スタッフが、泥かきをはじめとする支援活動に従事する予定。
- 9月28日、「第38回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン2024」が都立木場公園で開催され、企業や団体、東京YMCA各部署など41チームが競技に参加した。当日は、ランナー、子どもたち、ボランティア、スタッフなど約1,300名が集った。全国YMCAインターナショナル・チャリティーラン大会委員長で、パリ2024パラリンピック競泳メダリストでもある富田宇宙氏も来場し、開会挨拶の他、競技へも参加し、子どもたちとの交流も行われ活気ある大会となった。大会の収益金は、東京YMCA及び全国YMCAで実施される障がいのある子どもたちを支えるプログラムのために用いられる。
- 10月4日、東京YMCA高等学院では、「10周年+1記念コンサート」を日本基督教団霊南坂教会で開催し、約70名が来場した。11年の歩みを振り返る時を持った。
- ・10月12日、東陽町コミュニティー委員会の主催で「下町子どもダイニング」と「フードパントリー」の記念感謝会が開催され、53名が参加した。15の企業・団体と16名の個人に感謝の記念品が贈られた。
- 今後の主な行事予定
 - ・「国際協力一斉街頭募金」 11月2日（新宿駅周辺）
 - ・「第23回日本YMCA大会」 11月15日～17日（YMCA東山荘）

<クラブからの報告>

2024年10月第2例会 報告

小口多津子(書記)

日時:2024年10月12日(土)18:00～20:00

会場:北野事務所

出席(敬称略) A班:佐藤、長谷川、小口 B班:並木真、花輪、久保田、望月 C班:並木信一、菅野、山本、大久保(11名)

・クラブ報告・確認(会長)

9/28(土)東京YMCAチャリティーラン第38回YMサービsteamの結果26位/41チーム中 昨年は24位。参加者(中島、綿引、中里、並木真、美奈子、渡邊)応援(菅野、稲葉、小口)

9/28～29 富士山例会(富士五湖クラブ主催)参加(久保田、長谷川)久保田さんは、ホストクラブ以外では最多出席者で表彰。

・クラブ連絡事項(会長)

- ① 10月19日(土)あずさ部部大会(甲府クラブ)石和。出席:長谷川、久保田、小口
- ② 10月26日(土)クラブ設立30周年記念例会、会場:八王子エルシー 開始11:00～14:00
- ③ 11月9日(土)11月第一例会B班、卓話者:田中博之ワイズ、「ワイズメンズクラブの将来構想」
- ④ 12月14日(土)クリスマス例会C班、大学セミナーハウス。
- ⑤ 1月25日(土)1月第一例会A班、卓話者:熊沢佳代氏(東京YMCA)能登半島豪雨の支援の話
- ⑥ 能登半島豪雨募金(東京YMCA)・・・9月、11月のスマイルをクラブから(長谷川会計)
- ⑦ 中央大学白門祭・・・11月2～5日→ひつじくものブースを、何人かでまわって訪問。

・区関係(会長)

- ① 10月20日熱海グローリークラブ40周年記念式典 熱海芸妓歌舞練場 14時～
- ② 11月30日川越クラブ25周年記念例会
- ③ NYC 11月5～11日、開催地・アラブ首長国連邦ドバイ 東日本区5名の希望者のうち、予算上、3名に絞る予定。現在ひつじくもの国際経営学部3年の岩崎 葵さんが希望され、申込依頼書が会長にきた。会長から推薦書が提出されて、14日に事業委員会で検討、16日に希望者のZOOMで面接後、選考決定される。参加条件として来年のAYC熊本大会に関わること。本人渡航費用が150,000かかるが、八王子クラブからの補助、20,000円、あずさ部補助10,000円、区からの補助は60,000円。もし5名全員となったなら、区からは40,000円(1人)になる。岩崎さんは、昨年はAYC

ネパールでの経験をクラブ例会で報告した。今回はさらに異文化理解を深めて、今後日本に来たユースにその同じ体験をして欲しいという気持ちが主な希望理由。

- ④ 2024-2025年度のロースター、住所録の2冊が発行された。(会長より)

11月お誕生の方

花輪豊子さん 11月12日

山本英次さん 11月26日

先月の例会ポイント (10月)

在籍	12名	切手	0g	計 45g
メン	12名	現金		0円
メイキャップ	0名	累計		0円
出席率	100%	スマイル		0円
メネット	1名	累計		22,000円
ゲスト	0名	オークション		0円
ビジター	0名	累計		0円
ひつじぐも	0名			





東京八王子ワイズメンズクラブ 30周年記念式典 2024年10月26日 於 八王子エルシー



TOKYO HACHIOJI Y's Men's Club
30th Anniversary